

幼稚園は長い夏休みに入っています。子どもたちと会えなくて寂しいですが、お預かりの子が毎日のように来て、製作やプール遊びを楽しんでいますので、いつもよりは静かですが賑やかに楽しく過ごしています。今回は、市内で唯一の小学校との併設園ならではの素敵なおところを特集しました。



小学校のプール、広くて楽しいね！



毎年7月は、小学校の空き時間に小プールを利用させていただいています。対象は年長、年中児です。

いつもよりも大きなプールにどの子どもも大喜びです。この日は、岩淵保育園の年長さんを誘い、同じ小学校に上がるお友達とプールで楽しく交流しました。幼稚園の時から、小学校施設でのシャワーの浴び方やプールでの約束などを経験していくことで、入学してからのスムーズな活動につながります。慣れておくことで、プールへの不安もなくなります。



一寸法師みたいに
たらいに乗って浮かぶぞ



リングくぐりに
挑戦！



穴の開いているところ
を教えてね。



視力検査をしてもらったよ。

視力検査は、小学校の保健室へ行き、養護教諭の先生にお願いしています。

小学校にしかない器具を使っての視力検査は正確でとてもありがたいです。ほとんどの子が検査の仕方を理解して、指差しや「右」「左」と大きな声で伝えることができました。

こっちが開いています。





学校図書館で絵本を貸してもらえよ！

代本板には、園児一人一人の名前が書いてあります。



市内の公立幼稚園では、毎週絵本の貸し出しを行っています。通常は園の本を借りて帰るのですが、第一幼稚園だけは、小学校の図書館（学校図書館）の絵本を貸していただいています。小学生が借りるときに使う『代本板』も使わせていただいています。就学後のスムーズなスタートにつながります。



① 借りたい本を探して



② 借りた絵本のあったところに代本板を置きます



③ 借りる絵本が決まった子は、クラスのみんなが決まるまで絵本を見て待ちます。これがまた楽しいひと時です。



⑤ 図書館司書の先生にバーコードを見せてチェックしてもらいます。



④ 担任に借りる本を見せて

うらやまからのつぶやき（園長のつれづれなるままに No.4）

見送り三振よりも、空振り三振

7月3日(土)の熱海市伊豆山地区の土石流での災害は痛ましいことでした。また、今回の梅雨時に戻ったような停滞前線に因る土砂災害も前項各地で起こりました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

ところで、標題の言葉は、伊豆山土石流から次第に状況が分かってきた翌日曜日の夕方のニュースで、ある専門家が語っていたものです。

当時は、熱海市としては、土砂災害警報レベル3を発令していました。高齢者等の避難指示です。その理由として、熱海市長は「大雨のピークは終わって雨量は減ってくる」と答えていました。しかしながら、「ハザードマップでは、土砂災害警戒区域に指定され、それまでに降った降雨量の総計は、観測史上最高であったことを考えれば、レベル4の判断もありえたのでは……」という、専門家の談でした。加えて、「避難指示を出さなくて、何事もなかったという『見送り三振』よりも、避難指示を出したけれども、何事もなかったという『空振り三振』の方がよい」という例えを話されていました。

さて、私はこの言葉を耳にし、危機管理において私が肝に銘じていることに通じていたので「我が意を得たり」という思いになりました。

大切な子どもの命をお預かりしている園としては、慎重にならざるを得ません。多くの命を預かる公共性の高い施設においては、万が一このような事態に遭遇したならば、慎重に早め早めに対処し、土砂崩れが起こらなかつた、浸水害が起こらなかつた、避難して損したのではなく、「空振り三振」して良かったと胸を張って言いたいと思います。

“うらやま縁”の地域・保護者の皆様、ご理解のほど、よろしく願います。